



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月10日 東

上場会社名 株式会社メディアフラッグ 上場取引所
 コード番号 6067 URL <http://www.mediaflag.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 柳澤 幸浩 (TEL) 03 (5464) 8321
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,874	△6.3	116	17.6	106	15.8	132	138.9
27年12月期第1四半期	2,000	34.3	98	77.3	91	91.3	55	202.2

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 129百万円(133.9%) 27年12月期第1四半期 55百万円(255.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	28.92	28.74
27年12月期第1四半期	12.17	11.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	4,428	882	19.5
27年12月期	5,557	745	13.1

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 864百万円 27年12月期 729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	2.4	100	42.9	81	55.8	27	—	5.92
通期	8,000	2.1	350	151.8	313	233.0	200	—	43.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期1Q	4,668,294株	27年12月期	4,641,294株
28年12月期1Q	82,006株	27年12月期	82,006株
28年12月期1Q	4,574,588株	27年12月期1Q	4,551,041株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費はおおむね横ばいで推移し、企業収益は非製造業を中心に改善傾向にあり、雇用情勢は改善が続くなど、全体として緩やかな回復基調が続きました。

このような経済状況の中、当社グループの主な事業領域である消費財メーカー等への営業支援の分野及び流通小売業等への覆面調査を提供する流通支援の分野では、販売促進のための店舗店頭の改善と強化が重視される傾向が強く見られ、また、効率化や省力化のためのアウトソーシングのニーズも高まりました。さらに海外では、特にアジア地域において日本の流通小売業の持つ店舗店頭の改善と店舗展開のノウハウを求める傾向が依然として強くありました。

当社グループでは、このような事業環境に対応して既存顧客からの受注拡大と新規顧客獲得のための提案活動に注力したことにより顧客基盤と収益の拡大を実現いたしました。特に営業支援事業では、医薬品メーカーや嗜好品メーカーからの大型ラウンダー業務の受注、並びに小型デジタルサイネージの開発・販売を行う(株)impactTVの販売好調により売上高並びに利益を拡大いたしました。また海外では、インドを中心としたアジア地域において現地流通小売業向けのコンサルティングサービスを提供してまいりました。

なお、事業再生に取り組んでいる(株)十勝たちばなでは、赤字解消のための構造改革として不採算店舗の閉店及び事業譲渡、製造部門の合理化、所有不動産の売却を進めており、当第1四半期累計期間において沖縄で展開するしゅり春秋ブランドおよび同ブランドの3店舗の事業譲渡を実施して事業譲渡益を特別利益に計上しております。また、旧本社及び旧本社工場の売却も実施し固定資産売却益を特別利益に計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,874,673千円(前年同期比6.3%減)、営業利益は116,434千円(同17.6%増)、経常利益は106,449千円(同15.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は132,324千円(同138.9%増)となりました。

(参考)

(単位：千円)

	売上高	前年同期増減率	営業利益	前年同期増減率	経常利益	前年同期増減率	親会社株主に帰属する四半期純利益	前年同期増減率
連結業績	1,874,673	△6.3%	116,434	17.6%	106,449	15.8%	132,324	138.9%

なお、当社グループの主な企業の当第1四半期連結累計期間における各社単体業績は次の通りであります。

(単位：千円)

会社名	売上高	前年同期増減率	営業利益	前年同期増減率	経常利益	前年同期増減率	四半期純利益	前年同期増減率
(株)メディアフラッグ	877,122	△10.3%	46,737	△41.5%	43,026	△45.3%	25,823	△47.0%
(株)impactTV	359,447	8.3%	77,906	55.3%	78,094	55.5%	70,278	51.0%
(株)MEDIAFLAG沖縄	54,918	9.8%	6,053	32.4%	7,412	17.8%	5,094	11.7%
cabic(株)	178,386	17.6%	2,181	△48.0%	2,268	△46.2%	1,467	△64.0%
梅地亜福(上海)管理咨询有限公司	5,194	8.2%	△630	△605.0%	△31	△124.9%	△31	△124.9%
(株)MPandC	27,714	141.7%	△3,731	△101.1%	△3,762	△95.5%	△3,865	△102.4%
(株)十勝たちばな	428,915	△18.0%	△2,467	81.9%	△7,735	58.2%	48,065	351.0%
O&H(株)	20,775	101.8%	4,507	2,881.2%	4,663	4,139.4%	3,232	9,942.1%
その他	1,092	△50.5%	△139	40.5%	△138	40.9%	△156	34.6%

(注) 利益についての前年同期増減率については、損益の増減分を前期実績値で除して算出しており、損益が改善された場合はプラス表示、損益が悪化した場合はマイナス表示しております。

セグメント別の業績は次の通りであります。なお、前連結会計年度までストア事業としてコンビニエンスストア(3店舗)の運営をしておりましたが、平成27年8月にストア事業から撤退しております。

営業支援事業におきましては、リアルショップサポートの新規案件の受注及び、各メーカーが実施するキャンペーンや新商品の発売に合わせた推奨販売サービスの新規受注の拡大に加え、小型デジタルサイネージの開発・販売を行う子会社(株)impactTVの売上高が好調に推移しました。この結果、売上高は1,202,608千円(前年同期比17.0%増)、セグメント利益は156,122千円(同8.7%増)となりました。

流通支援事業におきましては、前年同期は消費財メーカーの大型案件があり、当第1四半期連結累計期間は同じ消費財メーカーの大型案件が前年第4四半期の受注であったことが影響したため、前年同期比で売上増加には至りませんでした。また海外においてはインド、インドネシア、中国で現地流通小売業向けコンサルティングサービスを提供してまいりました。この結果、売上高は237,261千円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益は111,633千円(同0.2%減)となりました。

ASP事業におきましては、前年同期は取引先仕様へのカスタマイズなど大型のスポット案件があった影響で売上高は減少しました。この結果、売上高は13,943千円(前年同期比37.5%減)、セグメント利益は10,853千円(同37.2%減)となりました。

事業再生に取り組んでいる和菓子製造販売事業におきましては、不採算店舗の閉鎖、沖縄で展開するしゅり春秋の3店舗の事業譲渡、旧本社及び旧本社工場の売却を進めました。この結果、売上高は428,915千円(前年同期比18.0%減)、セグメント損失は1,954千円(前年同期は23,162千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,129,542千円減少し、4,428,269千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ443,799千円減少し、2,746,086千円となりました。これは現金及び預金の減少279,821千円、受取手形及び売掛金の減少112,794千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ685,743千円減少し、1,682,183千円となりました。これは土地の減少585,000千円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,266,195千円減少し、3,545,698千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ412,624千円減少し、2,051,585千円となりました。これは買掛金の減少33,088千円、短期借入金の減少233,336千円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ853,570千円減少し、1,494,113千円となりました。これは長期借入金の減少847,715千円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ136,652千円増加し、882,571千円となりました。これは利益剰余金の増加132,324千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、平成28年2月12日に公表致しました連結業績予想に対し、現時点における変更はありません。

今後、経済情勢や業務の進捗状況等により変動の可能性が生じた場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が3,684千円減少しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が3,684千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,611,495	1,331,673
受取手形及び売掛金	1,031,793	918,999
商品及び製品	307,077	289,880
仕掛品	30,089	56,567
原材料及び貯蔵品	68,355	44,932
その他	142,789	106,965
貸倒引当金	△1,714	△2,931
流動資産合計	3,189,886	2,746,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,341,645	1,287,565
土地	1,493,155	908,155
その他	1,323,707	946,016
減価償却累計額	△3,359,618	△2,022,503
有形固定資産合計	1,798,890	1,119,233
無形固定資産		
のれん	240,867	223,520
その他	77,571	91,005
無形固定資産合計	318,439	314,525
投資その他の資産	250,596	248,424
固定資産合計	2,367,926	1,682,183
資産合計	5,557,812	4,428,269
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,857	177,769
短期借入金	901,662	668,326
1年内返済予定の長期借入金	656,043	649,513
未払法人税等	59,774	31,281
ポイント引当金	10,399	11,600
その他	625,472	513,095
流動負債合計	2,464,209	2,051,585
固定負債		
長期借入金	2,260,969	1,413,254
資産除去債務	50,061	47,283
株式給付引当金	17,317	17,317
その他	19,335	16,258
固定負債合計	2,347,683	1,494,113
負債合計	4,811,893	3,545,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,904	293,809
資本剰余金	499,615	504,203
利益剰余金	22,827	155,152
自己株式	△90,341	△90,341
株主資本合計	725,006	862,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	524	403
為替換算調整勘定	4,229	1,631
その他の包括利益累計額合計	4,754	2,034
新株予約権	4,044	4,044
非支配株主持分	12,115	13,669
純資産合計	745,919	882,571
負債純資産合計	5,557,812	4,428,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	2,000,140	1,874,673
売上原価	1,228,425	1,136,432
売上総利益	771,715	738,241
販売費及び一般管理費	672,716	621,806
営業利益	98,998	116,434
営業外収益		
受取利息	348	298
受取配当金	10	3
助成金収入	1,538	1,411
その他	2,351	673
営業外収益合計	4,250	2,386
営業外費用		
支払利息	10,826	11,054
その他	485	1,317
営業外費用合計	11,312	12,371
経常利益	91,936	106,449
特別利益		
固定資産売却益	-	9,933
事業譲渡益	-	46,759
特別利益合計	-	56,692
特別損失		
固定資産除却損	1,104	0
投資有価証券評価損	-	718
特別損失合計	1,104	718
税金等調整前四半期純利益	90,831	162,423
法人税、住民税及び事業税	30,725	27,894
法人税等調整額	4,300	1,966
法人税等合計	35,026	29,861
四半期純利益	55,805	132,562
非支配株主に帰属する四半期純利益	410	238
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,394	132,324

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	55,805	132,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△120
為替換算調整勘定	△318	△2,598
その他の包括利益合計	△286	△2,719
四半期包括利益	55,519	129,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,108	129,605
非支配株主に係る四半期包括利益	410	238

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	ストア 事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,027,703	243,789	22,319	183,890	522,437	2,000,140	—	2,000,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	440	510	—	—	387	1,338	△1,338	—
計	1,028,143	244,299	22,319	183,890	522,825	2,001,478	△1,338	2,000,140
セグメント利益 又は損失(△)	143,642	111,833	17,284	2,334	△23,162	251,933	△152,934	98,998

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△152,934千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	営業支援 事業	流通支援 事業	ASP事業	和菓子 製造販売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,198,691	236,816	13,943	425,222	1,874,673	—	1,874,673
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,917	445	—	3,692	8,054	△8,054	—
計	1,202,608	237,261	13,943	428,915	1,882,728	△8,054	1,874,673
セグメント利益 又は損失(△)	156,122	111,633	10,853	△1,954	276,655	△160,220	116,434

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△160,220千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「和菓子製造販売事業」のセグメント資産が前連結会計年度の末日に比べ871,693千円減少しております。

これは主に、当第1四半期連結会計期間において行なった「和菓子製造販売事業」を構成する㈱十勝たちばなの旧本社及び旧本社工場を売却したこと等による固定資産の減少によるものであります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度までストア事業としてコンビニエンスストア(3店舗)の運営をしておりましたが、平成27年8月にストア事業から撤退しております。